

**MDC-70/MDC-70T**

**Multi Device Controller**

**簡易 LOG 機能**

**取扱説明書**

## 【改定履歴】

	発行日	バージョン	内容
1	2016年7月	S0100_01_57	初版
2			
3			
4			
5			

## 【目次】

1. はじめに.....	3
2. 簡易 LOG 機能詳細.....	3
2.1 操作方法.....	3
2.2 LOG の削除.....	4
2.3 LOG の保存.....	4
3. LOG の内容.....	5
3.1 起動時診断ログ(SysLog - System).....	5
3.2 操作ログ(SysLog - Operation).....	5
3.3 GPI ログ(SysLog-GPI).....	5
3.4 LAN ログ(SysLog-Lan).....	6
3.5 SIO ログ(SysLog-Sio).....	6
4. お問い合わせ.....	7

## 1. はじめに

“MDC-70”“MDC-70T”をご使用頂き、誠にありがとうございます。

本製品の簡易 LOG 機能について記載致します。

本内容は技術的要素も含まれております。必要と思われる箇所のみ抜粋してご確認下さい。

### 【対応バージョン】

S0100-01-57 2016 年7月 リリース

## 2. 簡易 LOG 機能詳細

簡易 LOG 機能とは、起動時の診断ログ・操作ログ・GPI ログ・通信ログの確認が可能です。LOG は不揮発メモリ内のリングバッファに保存されますので、現時点から下記の件数の操作を確認する事が可能です。また LOG は USB メモリに保存し PC で確認する事も可能です。

### 【LOG 件数】

- ・ 起動時診断ログ(SysLog – System) : 300 件
- ・ 操作ログ(SysLog – Operation) : 999 件
- ・ GPI ログ(SysLog-GPI) : 300 件
- ・ LAN ログ(SysLog-Lan) : 300 件
- ・ SIO ログ(SysLog-Sio)\*4 ポート切替可 : 300 件

### 2.1 操作方法

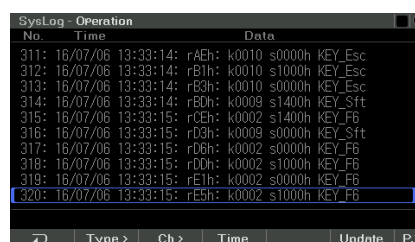
DeviceStatus 画面にて”SFT ボタン”を押し

“F6 ボタン”(Monitor)を選択します。

“F6 ボタン”(SysMoni)を選択すると SysMon 画面に移行します。

“F6 ボタン”(SysLog)を選択すると SysLog 画面に移行します。

この SysLog 画面で上記の LOG の確認が可能です。



No.	Time	Data
311	16/07/06 13:33:14	rAEh: k0010 s0000h KEY_Esc
312	16/07/06 13:33:14	rE1h: k0010 s1000h KEY_Esc
313	16/07/06 13:33:14	rE3h: k0010 s0000h KEY_Esc
314	16/07/06 13:33:14	rEDh: k0009 s1400h KEY_Sft
315	16/07/06 13:33:15	rCEh: k0002 s1400h KEY_F6
316	16/07/06 13:33:15	rD3h: k0009 s0000h KEY_Sft
317	16/07/06 13:33:15	rD6h: k0002 s0000h KEY_F6
318	16/07/06 13:33:15	rDDh: k0002 s1000h KEY_F6
319	16/07/06 13:33:15	rE1h: k0002 s0000h KEY_F6
320	16/07/06 13:33:15	rE5h: k0002 s1000h KEY_F6

“F2 ボタン”(Tyoe>)を押す毎に LOG の内容が変わります。

“F3 ボタン”(ch>)を押す毎に SIO1～SIO4 の内容が変わります。

“F4 ボタン”(Time>)を押す毎に表示タイプが切り替わります。

## 2. 2 LOG の削除

ログデータはリングバッファにより保存されていますが削除する事も可能です。

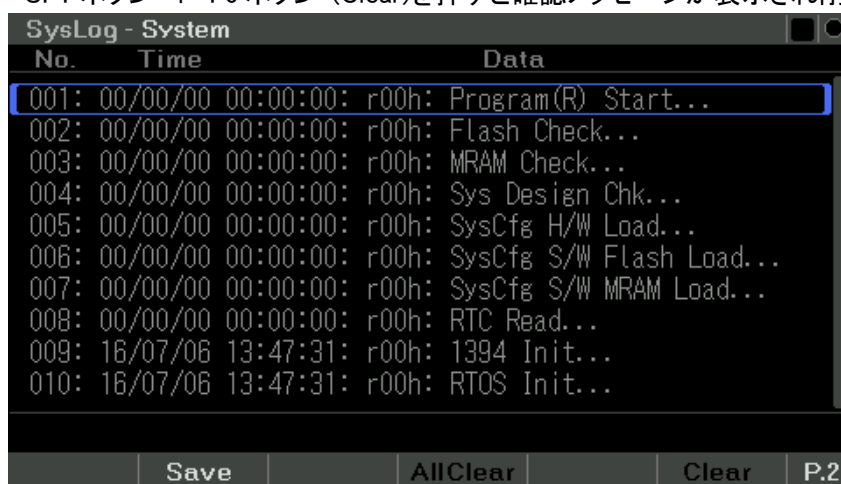
ログデータを削除するには”P ボタン”で P2 に切替ます。

AllClear : 全てのログを削除します。

“SFT ボタン”+“F4 ボタン”(AllClear)を押すと確認メッセージが表示され削除が可能です。

Clear : 選択している LOG を削除します。

“SFT ボタン”+“F6 ボタン”(Clear)を押すと確認メッセージが表示され削除が可能です。



The screenshot shows a window titled "SysLog - System" with a table of log entries. The table has three columns: "No.", "Time", and "Data". The entries are as follows:

No.	Time	Data
001:	00/00/00 00:00:00:	r00h: Program(R) Start...
002:	00/00/00 00:00:00:	r00h: Flash Check...
003:	00/00/00 00:00:00:	r00h: MRAM Check...
004:	00/00/00 00:00:00:	r00h: Sys Design Chk...
005:	00/00/00 00:00:00:	r00h: SysCfg H/W Load...
006:	00/00/00 00:00:00:	r00h: SysCfg S/W Flash Load...
007:	00/00/00 00:00:00:	r00h: SysCfg S/W MRAM Load...
008:	00/00/00 00:00:00:	r00h: RTC Read...
009:	16/07/06 13:47:31:	r00h: 1394 Init...
010:	16/07/06 13:47:31:	r00h: RTOS Init...

At the bottom of the window, there are four buttons: "Save", "AllClear", "Clear", and "P.2".

## 2. 3 LOG の保存

リングバッファに保存されているログデータを USB メモリに保存し PC で確認する事が可能です。

ログデータを保存するには”P ボタン”で P2 に切替ます。

本装置に USB メモリを接続して“F2 ボタン”(Save)を押すと確認メッセージが表示され保存する事が可能です。

※対応 USB メモリ : FAT フォーマット

### 3. LOG の内容

---

ログファイルの各行の先頭部分は、以下のヘッダ情報となります。

例: “001 : 2015/01/01 00:00:00 : Ref00000000h Tick00000000h : ~”

内容: “番号 : 日時 : リファレンスカウンタ : H/W タイマカウンタ : ~”

※上記カウンタ情報は、各ログ間の短期間での間隔を知る為の参考値です。

#### 3. 1 起動時診断ログ(SysLog - System)

故障や障害時等の調査時に弊社にて使用します。

保存件数 300 件

ファイル名 : “SYS\_LOG\_日付\_時刻.TXT” 形式

詳細 : 詳細内容は保守用情報となります。

#### 3. 2 操作ログ(SysLog - Operation)

保存件数 999 件

ファイル名 : “OPR\_LOG\_日付\_時刻.TXT” 形式

詳細 : 操作ボタンを操作した内容が保存されます。

各 SW は押し下げされた時(M)、離れた時(B)、  
押し続けた時(R)が各々記録されます。

【例】(抜粋)

008 : Rtc=2016/07/06 13:48:20 : Sts=1000h M KEY\_DvcPlay

009 : Rtc=2016/07/06 13:48:20 : Sts=0000h M KEY\_DvcRec

010 : Rtc=2016/07/06 13:48:20 : Sts=0000h B KEY\_DvcPlay

011 : Rtc=2016/07/06 13:48:24 : Sts=1000h M KEY\_DvcFplay

012 : Rtc=2016/07/06 13:48:24 : Sts=0000h B KEY\_DvcFplay

#### 3. 3 GPI ログ(SysLog-GPI)

保存件数 300 件

ファイル名 : “GPI\_LOG\_日付\_時刻.TXT” 形式

詳細 : GPI の入出力の内容が保存されます。

GPI は ON の時 / OFF の時の状態が各々16進数で録されます。

“~: Inp Trg=0001h Sts=0001h” : 入力ログ (“Trg=”変化 Bit、“Sts=”Bit 状態)

“~: Out Trg=0010h Sts=AA10h” : 出力ログ (“Trg=”変化 Bit、“Sts=”Bit 状態)

### 3. 4 LAN ログ(SysLog-Lan)

保存件数 300 件

ファイル名 : ” LANx\_LOG\_日付\_時刻.TXT” 形式

詳細 : LAN 通信の送信と受信の情報の一部が保存されます。

“~: Tx fnc=0000h id=000 rsts=0000h siz=000” :送信ログ

“~: Rx fnc=0000h id=000 rsts=0000h siz=000” :受信ログ

“fnc=” :機能コード

“id=” :トランザクション ID

“rsts=” :ステータス

“siz=” :データ部サイズ

### 3. 5 SIO ログ(SysLog-Sio)

SIO は1ch~4chまで切り替えて保存する事が可能です。

保存件数 300 件

ファイル名 : ” SIOx\_LOG\_日付\_時刻.TXT” 形式

詳細 : SIO 通信の送信と受信の情報の操作した時の通信コマンドが保存されます。

※定時センス系のコマンドは表示されません。

“~: Tx siz=007 data=24.31.00.30.01.00.86” :送信データ

“~: Rx siz=003 data=10.01.11” :受信データ

“siz=” :電文サイズ

“data=” :電文データ (16 進ダンプ形式)

## 4. お問い合わせ

---

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

### **武蔵株式会社**

**TEL 03-5982-4391    FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>

---